

薬理学講座
(Department of Pharmacology)

1) 印刷公表

1. Iwamoto K, Shinohara M, Ohura K. Changes of plasma cytokine levels in ODUS/Odu. *J Osaka Dent Univ* 2009 ; 43(2) : 175–181.
2. Suzuki J*, Murakami Y*, Samejima K*, Kohda K*, Ohtani M, Oka T*. Antizyme is necessary for conversion of pancreatic tumor cells into glucagon-producing differentiated cells. *Endocr Relat Cancer* 2009 ; 16 : 649–659.
3. Fujihara H^{*2}, Ogino H^{*2}, Maeda D^{*2}, Shirai H^{*2}, Nozaki T, Kamada N^{*3}, Jishage K^{*3}, Tanuma S^{*4}, Takato T^{*5}, Ochiya T^{*2}, Sugimura T^{*2}, Masutani M^{*2}. Poly (ADP-ribose) glycohydrolase deficiency sensitizes mouse ES cells to DNA damaging agents. *Curr Cancer Drug Targets* 2009 ; 9(8) : 953–962.
4. Ohtani M, Mizuno I^{*6}, Kojima Y*, Ishikawa Y*, Sodenno M*, Asakura Y*, Samejima K*, Oka T*. Spermidine regulates insulin synthesis and cytoplasmic Ca²⁺ in mouse Beta-TC6 insulinoma cells. *Cell Structure and Function* 2009 ; 34 : 105–113.
5. Ohura K, Shinohara M, Daito K, Shirasu S, Daito M. Effects of intravenous anesthetics on superoxide anion production by leukocytes. *Free Radicals, Health and Lifestyle* 2009 ; International Proceedings : 101–103.
6. Nagasaka K^{*7}, Nakagawa H^{*8}, Satoh F^{*8}, Shinohara M, Ohura K. A novel cytotoxic protein, Karatoxin, from the dorsal spines of the redbfin velvetfish, *Hypodytes rubripinnis*. *Toxin Reviews* 2009 ; 28(4) : 260–265.
7. 石塚智子, 裕 哲崇^{*9}, 室谷知孝^{*10}, 篠原光子, 大和谷 厚^{*10}, 大浦 清. 脳内ヒスタミン神経系活性化に対する味覚と口腔体性感覚の影響の比較. 日本味と匂学会誌 2009 ; 16(3) : 397–400. (平成 21 年度～23 年度科学研究費補助金 若手研究 (B) 課題番号 21791820)
8. Ohtani M, Daly JW^{*11}, Oka T*. Co-existence of muscarinic and nicotinic receptors and their functional interaction in mouse Beta-TC6 cells. *Eur J Pharmacol* 2009 ; 604 : 150–157.

2) 学会発表

1. 橋本亮太^{*12}, 服部聡子^{*13}, 室谷知孝^{*10}, 松崎伸介^{*14}, 石塚智子, 熊本奈都子^{*14}, 高村明孝^{*12}, 大井一高^{*12}, 安田由華^{*12}, 遠山正彌^{*15}, 大和谷 厚^{*10}, 功刀 浩^{*13}, 武田雅俊^{*12}. 統合失調症脆弱性遺伝子ディスバインジン欠損マウスの行動解析. 日本統合失調症学会第 4 回大会抄録集 2009 : 10.

2. 室谷知孝^{*10}, 石塚智子, 山本浩一^{*10}, 浅野景子^{*10}, 阪田亘平^{*10}, 本城由衣^{*10}, 大和谷 厚^{*10}. 疼痛刺激によるマウス視床下部におけるヒスタミン遊離の上昇. *Journal of Pharmacological Sciences* 2009; **109**(Supplement 1): 223P.
3. 大谷政博, Jacobson KA^{*15}, 岡 孝己*. マウス培養 β 細胞のインスリン分泌及び細胞増殖における ATP 及びプリン作動性 P2X レセプターの役割について. 日本薬学会第 129 年会抄録集 2009; **3**: 185.
4. 橋本亮太^{*12}, 高雄啓三^{*16}, 服部聡子^{*13}, 室谷知孝^{*10}, 遠山桂子^{*16}, 中西和男^{*17}, 松崎伸介^{*14}, 石塚智子, 熊本奈都子^{*14}, 高村明孝^{*12}, 大井一高^{*12}, 福本素由己^{*12}, 山森英長^{*12}, 安田由華^{*12}, 遠山正彌^{*18}, 大和谷 厚^{*10}, 功刀 浩^{*13}, 宮川 剛^{*16}, 武田雅俊^{*12}. 統合失調症脆弱性遺伝子ディスプレイエンジンと記憶との関連: ヒトと動物モデルの表現型の検討. 日本生物学的精神医学会プログラム・講演抄録 2009: 103.
5. 野崎中成, 長澤晋吾^{*19}, 大東道治, 大浦 清. 唾液分泌物質を指標にした診療におけるストレス評価. 日本口腔科学会雑誌 2009; **58**(4): 285.
6. 野崎中成, 篠原光子, 大浦 清. 歯髄細胞の間葉系細胞への分化における遺伝子発現のクラスタリング解析. 第 1 回研究成果報告会抄録集 2009: 26. (平成 19~21 年度大阪歯科大学ハイテク・リサーチ・センター整備事業 (プロジェクト 2))
7. Ohura K, Shinohara M, Daito K, Shirasu S, Daito M. Effects of intravenous anesthetics on superoxide anion production by leukocytes. *Free Radical Research* 2009; **43**(Supplement 1): S 94.
8. 石塚智子, 裕 哲崇^{*9}, 室谷知孝^{*10}, 篠原光子, 大和谷 厚^{*10}, 大浦 清. 脳内ヒスタミン神経系活性化に対する味覚と口腔体性感覚の影響の比較. 日本味と匂学会第 43 回大会プログラム・予稿集 2009: 76. (平成 21 年度~23 年度科学研究費補助金 若手研究 (B) 課題番号 21791820)
9. 篠原光子, 中川秀幸, 大浦 清. ラッパウニの大型叉棘レクチンの多様性と生理活性. *J Oral Biosci* 2009; **51**(Suppl): 157.
10. Iwamoto K, Shinohara M, Ohura K. Changes of plasma cytokine levels in ODUS/Odu. *J Oral Biosci* 2009; **51**(Suppl): 158.
11. Ishizuka T, Sako N^{*9}, Murotani T^{*10}, Shinohara M, Yamatodani A^{*10}, Ohura K. The effect of hardness of food on histamine release in rat amygdala. *Neuroscience Research* 2009; **65**(Suppl 1): S 224.
12. 石塚智子, 裕 哲崇^{*9}, 室谷知孝^{*10}, 森本 彩^{*10}, 大和谷 厚^{*10}, 大浦 清. 口腔内諸感覚による脳内ヒスタミン神経系の活性化. 第 13 回日本ヒスタミン学会講演要旨集 2009: 13. (平成 21 年度~23 年度科学研究費補助金 若手研究 (B) 課題番号 21791820)
13. 室谷知孝^{*10}, 五十川侑加^{*10}, 唐島道崇^{*10}, 石塚智子, 大和谷 厚^{*10}. 統合失調症治療薬による脳内ヒスタミン神経系の活性化. 第 13 回日本ヒスタミン学会講演要旨集 2009: 17.
14. 覚道健治, 石橋克禮^{*20}, 大浦 清, 岡部貞夫^{*21}, 木野孔司^{*22}, 栗田賢一^{*23}, 柴田考典^{*24}, 杉崎正志^{*25}, 村上賢一郎^{*26}, 窪 寛仁. 顎関節の痛みに対する消炎鎮痛薬の効果判定基準. 歯界展望 2009; 特別号: 362.

15. 園本美恵, 野崎中成, 小川大樹, 大浦 清, 大東道治. 唾液中物質をマーカーにした小児の歯科診療におけるストレスの評価の試み. 歯界展望 2009; 特別号: 362.

著書

1. 大浦 清. 6章 止血薬. 新歯科衛生士教本 薬理学. 東京: 医歯薬出版 2009: 81-86.
2. 大浦 清. 9章 病原微生物に作用する薬物. 新歯科衛生士教本 薬理学. 東京: 医歯薬出版 2009: 105-123.
3. 大浦 清. 10章 悪性腫瘍治療薬. 新歯科衛生士教本 薬理学. 東京: 医歯薬出版 2009: 124-128.
4. 大浦 清. 11章 腐食・収斂薬. 新歯科衛生士教本 薬理学. 東京: 医歯薬出版 2009: 129-132.
5. 篠原光子. 第9章 消化器の疾患. 疾病の成り立ちと回復の促進・薬理学. 第2版. 東京: 医歯薬出版 2009: 219-228.
6. 篠原光子. 第10章 呼吸器の疾患. 疾病の成り立ちと回復の促進. 薬理学. 第2版. 東京: 医歯薬出版 2009: 229-236.
7. 篠原光子. 第11章 感覚器の疾患. 疾病の成り立ちと回復の促進. 薬理学. 第2版. 東京: 医歯薬出版 2009: 237-243.
8. 篠原光子, 野崎中成. 歯科医学・歯科医療の基本 Success 必修 2011. 東京: 学建書院 2009: 1-267.

-
- * 武蔵野大学薬学部
 - *2 国立がんセンター研究所
 - *3 中外医科学研究所
 - *4 東京理科大学薬学部
 - *5 東京大学医学部
 - *6 湧永製薬
 - *7 *Fukae Nagasaka Clinic*
 - *8 *Department of Environmental Symbiosis, Institute of Socio-Arts and Sciences, The University of Tokushima Graduate School*
 - *9 朝日大学歯学部口腔生理学分野
 - *10 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻
 - *11 *Laboratory of Bioorganic Chemistry, National Institutes of Diabetes and Digestive and Kidney Diseases National Institutes of Health, U.S.A.*
 - *12 大阪大学大学院医学系研究科精神医学
 - *13 国立精神・神経センター神経研究所疾病研究第三部
 - *14 大阪大学大学院医学系研究科神経機能形態学
 - *15 *Chemical Biology, National Institutes of Diabetes and Digestive and Kidney Diseases National Institutes of Health, U.S.A.*
 - *16 藤田保健衛生大学総合医科学研究所システム医科学研究部門
 - *17 京都大学大学院医学研究科先端技術センター生体遺伝子機能解析グループ
 - *18 大阪大学医学部解剖学第二講座
 - *19 金沢工業大学
 - *20 鶴見大学歯学部口腔外科学第2講座
 - *21 埼玉県立がんセンター口腔外科
 - *22 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科全人的医療開発学系包括診療歯科学講座顎関節咬合学分野
 - *23 愛知学院大学歯学部口腔外科学第1講座
 - *24 北海道医療大学歯学部生体機能病態系組織再建口腔外科学分野
 - *25 東京慈恵会医科大学歯科学教室
 - *26 赤穂市民病院歯科口腔外科